

Hidden Place

1

壊れること

私は、何か壊れていくことに興味があります。この世界も私たちも、いつか壊れてなくなります。

しかし、制作は何かをつくることで、この世界に何かを生んで増やすことです。

少しずつ失われていくから、何かをこの世界に生んでいるとも言えると思います。

壊れることとつくること。

これまでつくっていたものは、木を使ったものが多く、木を斧や鉋で叩くことで現れてくるかたちを考えていました。

木を転がして斧や鉋で壊しながらつくっていく。

同じことを蠟でできないだろうかと思いました。

蠟は温めると溶けてかたちを失います。

つくる人の意思と関係なく、壊れてなくなっていくことが前提として存在する時、失う予感の中に存在を強烈に認識することがあります。

2

隠されている場所

世界も彫刻も私たちも隠された場所をもっていると思います。

私はつくることで隠された場所を探っています。

つくることで隠された場所を見たいと願っています。

2020.8 亀元円



過去の作品